

平成 27 年度 JA ファーマーズ・マーケット実態調査
年間販売高は全国平均で2億円超
店舗面積300㎡以上の大規模化が進む

全国農業協同組合中央会
(J A 全 中)

全国農業協同組合中央会（JA 全中）は、全国の JA ファーマーズ・マーケット約 1,000 店舗を対象に「平成 27 年度 JA ファーマーズ・マーケット実態調査」を実施しました（サンプル数=989 店舗、調査方法=アンケート方式、期間=平成 27 年 6 月～7 月）。

○JA ファーマーズ・マーケットの販売高が増加傾向にあり、全店舗平均で 2 億円超

年間販売額は 5 年前に比べ 1 店舗当たり平均して 44 百万円増えており、全店舗平均で 221 百万円となりました。なお、全店舗の合計販売額も 78,768 百万円増の 2,129 億円となりました。

○JA ファーマーズ・マーケットの店舗面積が大規模化の傾向にあり、300 ㎡超が約 3 割

平成 22 年度は売り場面積が 300 ㎡超の割合は全体の 19.2%でしたが、この 5 年間で大規模化が進み全体の 30.2%を占め、11%増えました。

○JA ファーマーズ・マーケットの営業日数が増加傾向にあり、全店舗平均で 326 日

営業日数 300 日以上の店舗が全体の 84.5%となり、定休日は年末年始の他、平均して月 2 回程度の頻度が多くなりました。

○JA ファーマーズ・マーケットの出荷者数 400 人以上の店舗の割合が約 3 割

店舗の大規模化や販売力の強化に伴い出荷者数が増えており、5 年前に比べ 1 店舗当たり平均して 126.6 人増加しています。

○JA ファーマーズ・マーケットでの生産履歴記帳の取り組みは 9 割以上で実施

食の安全確保のための残留農薬対策として、生産履歴記帳（防除記録）の義務付けや点検を徹底している店舗が、5 年前に比べて着実に浸透しています。

JA ファーマーズ・マーケットは、地域で生産された農産物を地域で消費する「地産地消」の拠点として、地域住民の皆さんに新鮮で安全・安心な農産物を提供しています。

食と農、地域と JA を結ぶ「JA ファーマーズ・マーケット」に出かけてみてはいかがでしょうか。

※原稿などにご活用いただく際には、「JA 全中調べ」と付記してくださいませよう願いたします。

—本資料に関するお問い合わせ先—

全国農業協同組合中央会（JA 全中） 広報部 広報企画課
担当：古林・井上 TEL：03-6665-6010 / FAX：03-3217-5072



■調査概要■

1. 調査目的

本調査は、JAファーマーズ・マーケットの実態を体系的・計数的に把握し、今後の持続的発展に向けてJAグループの組織力を活かした事業展開を図ることを目的として、JA・JA中央会のご協力を得て、平成15年度以降概ね3年に一度の割合で実施する（今回は22年度より5年ぶりに実施）。

2. 調査概要

(1) 調査対象

JAが開設あるいは運営を委託されているファーマーズ・マーケットで、JA（協同会社を含む）直営型および組合員組織運営型の常設店舗を対象とし、Aコープや量販店の店舗内に設置している産直コーナー（インショップ）やテント・軒下などを利用した仮設店舗は除いている。

ここでの常設店舗とは、基本的には周年営業をしており自前の建物であることと定義した。

ただし、平成27年度開設の店舗については1年以上営業していないため対象から外した。

本調査では374JA989店舗（前回862店舗）からの回答があったが、このうち32件については県域で独自の調査を実施済みであったため、販売額等の店舗概況の数値のみを対象とした。

※都道府県別回収状況は別紙（5）参照

(2) 調査対象期間

平成27年4月1日現在を基準として期間が1年にわたる項目は平成26年度を対象とした。

(3) 調査方法

JA都道府県中央会を通じて、全JAに対してアンケート方式で調査票を配布し、平成27年7月未までに回収した。

(4) アンケートの設計

①調査項目は、基本的には平成22年度の内容を踏襲し、今後重要と思われる項目をさらに追加した。

②これまで調査と同様の質問項目でも、対象や期間が異なるため、単純に比較できない項目もある。

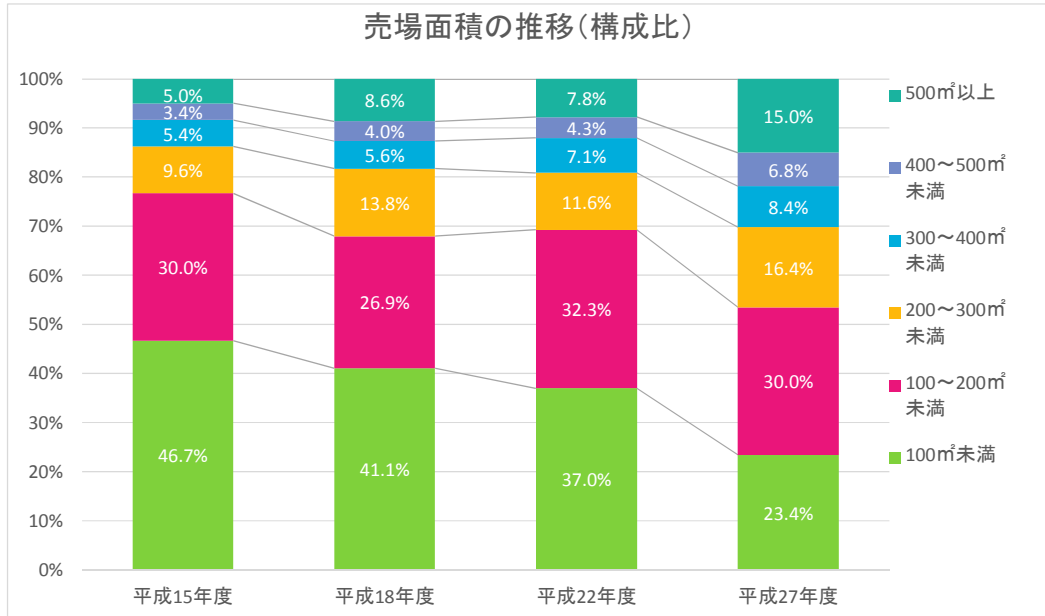
(5) 都道府県別回収状況

県名	回答JA数	回答店舗数
北海道	10	11
青森	9	23
岩手	5	8
宮城	9	17
秋田	3	3
山形	9	17
福島	16	32
茨城	14	51
栃木	7	32
群馬	10	24
埼玉	5	43
千葉	9	17
東京	13	45
神奈川	8	16
山梨	7	15
長野	13	24
新潟	8	10
富山	4	9
石川	15	20
福井	6	6
岐阜	4	31
静岡	12	46
愛知	19	79
三重	10	29

県名	回答JA数	回答店舗数
滋賀	8	10
京都	3	8
大阪	11	19
兵庫	11	44
奈良	1	7
和歌山	7	15
鳥取	3	11
島根	1	2
岡山	3	11
広島	13	24
山口	6	16
徳島	3	6
香川	1	26
愛媛	14	16
高知	7	12
福岡	15	39
佐賀	2	13
長崎	7	22
熊本	13	32
大分	5	20
宮崎	11	14
鹿児島	3	5
沖縄	1	9
合計	374	989

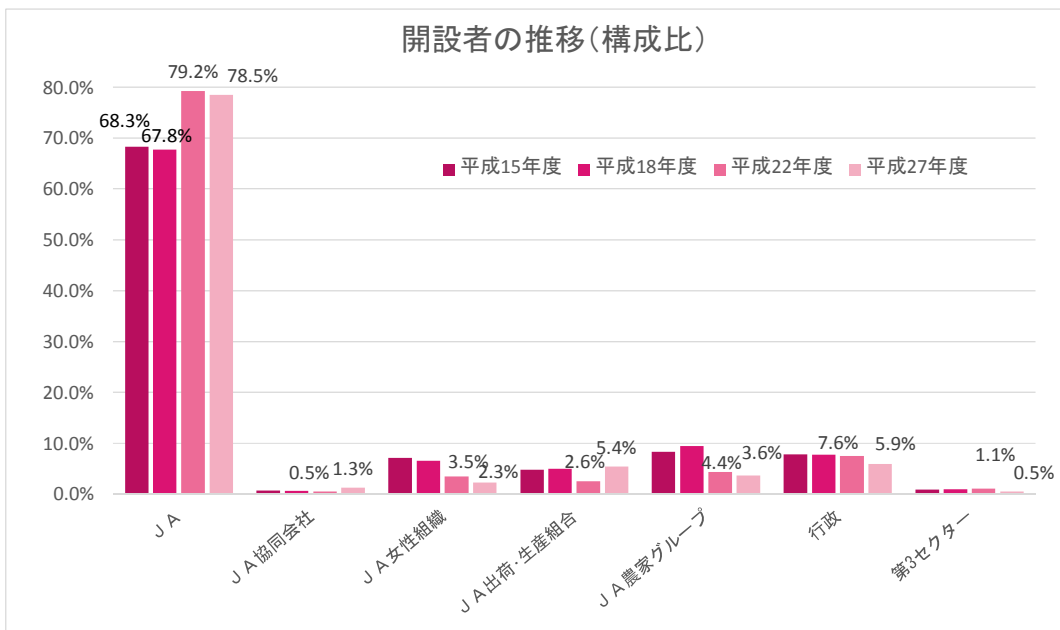


JAファーマーズ・マーケットの店舗面積が大規模化の傾向にあり、300㎡超店舗が全体の3割である。



資料:平成27年度JAファーマーズ・マーケット実態調査結果報告

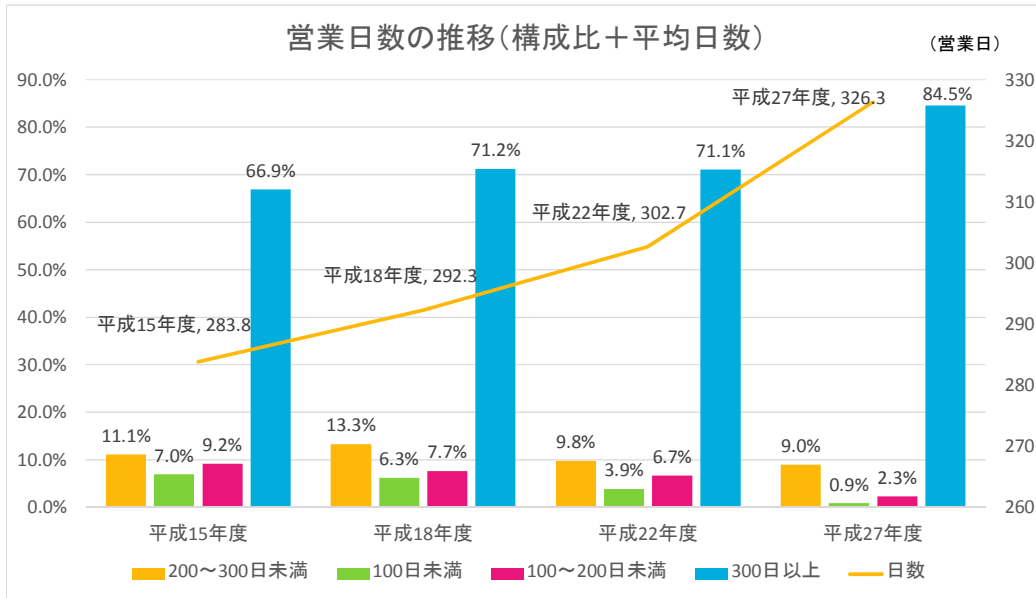
JAファーマーズ・マーケットの開設者は、全体の約8割がJAであり、農家グループ等は減っている。



資料:平成27年度JAファーマーズ・マーケット実態調査結果報告

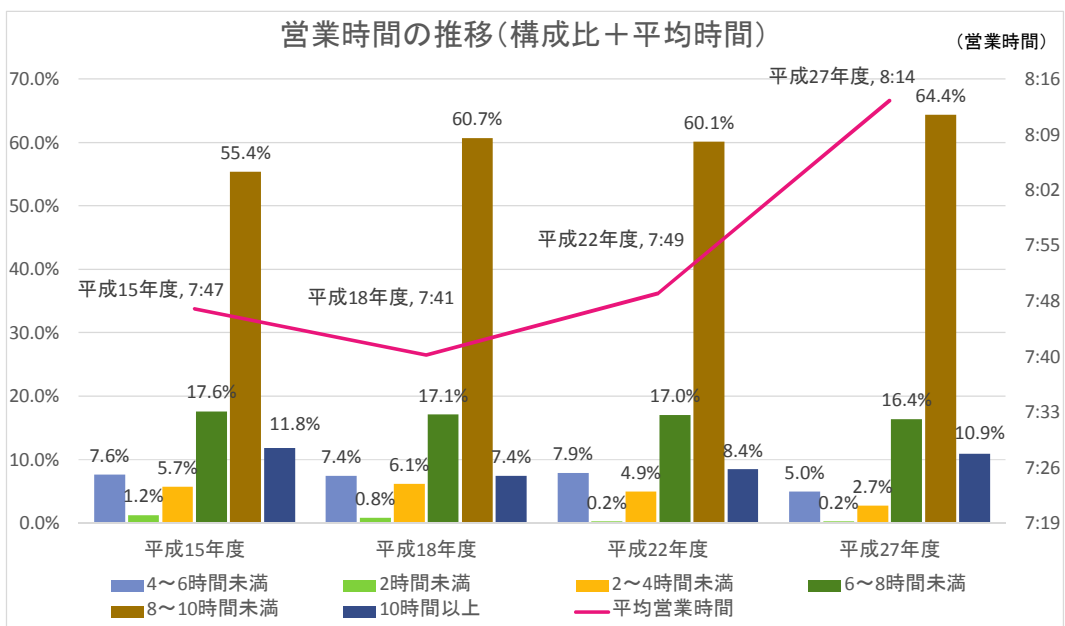


JAファーマーズ・マーケットの営業日数が増加傾向にあり、全店舗平均で326日となった。



資料:平成27年度JAファーマーズ・マーケット実態調査結果報告

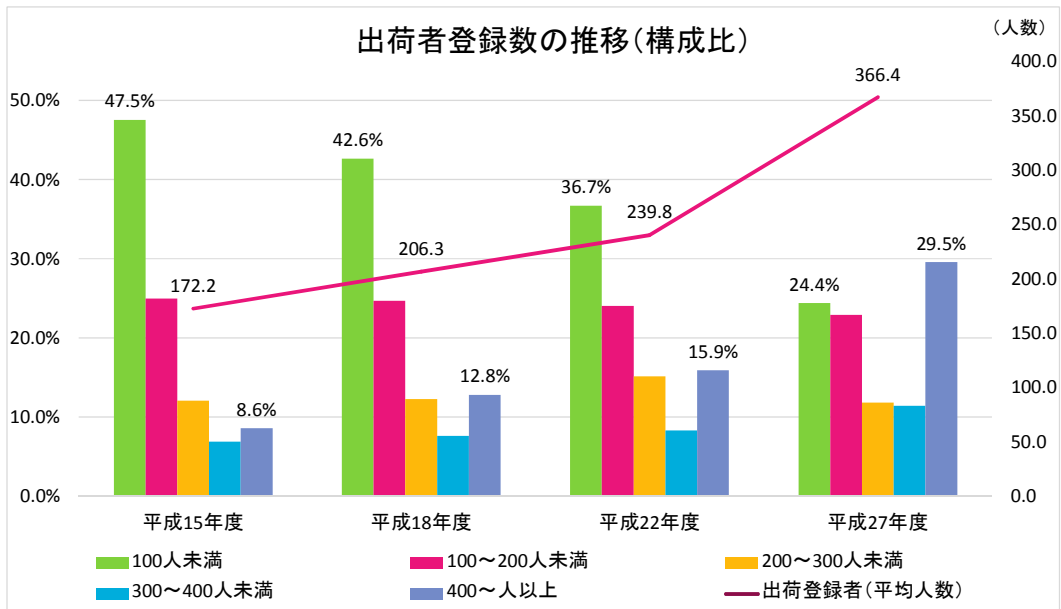
JAファーマーズ・マーケットの営業時間が増加傾向にあり、全店舗平均で8時間を超えた。



資料:平成27年度JAファーマーズ・マーケット実態調査結果報告

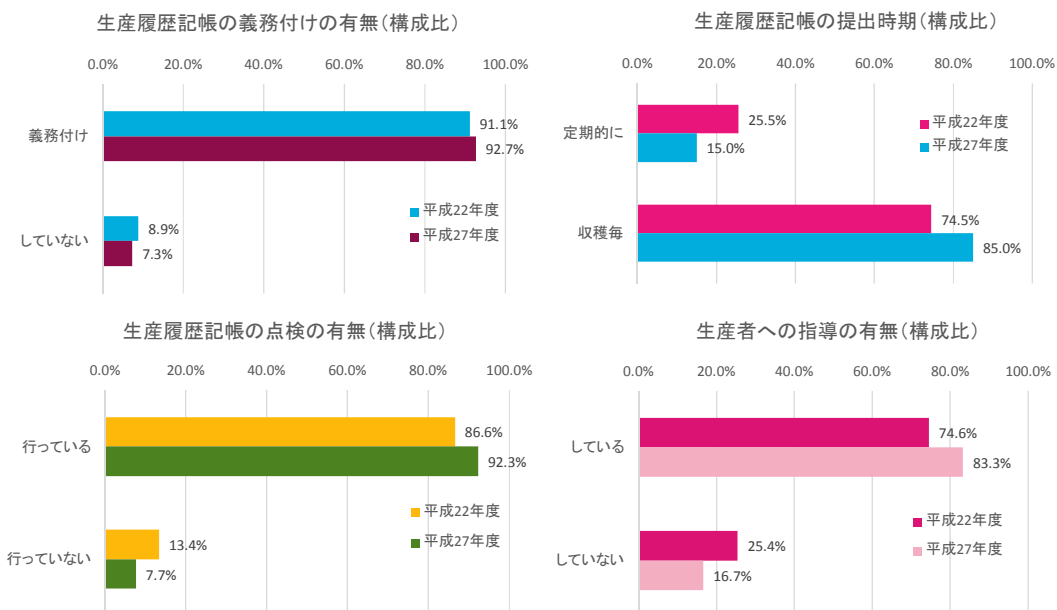


JAファーマーズ・マーケットの出荷者数が増加しており、400人以上の出荷者の割合が約3割である。



資料:平成27年度JAファーマーズ・マーケット実態調査結果報告

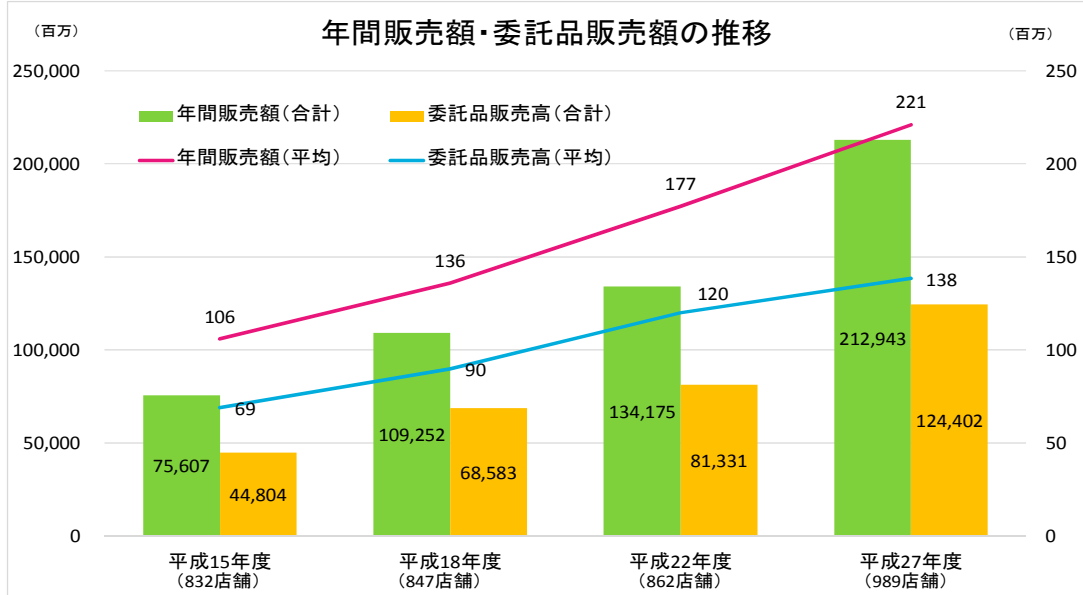
JAファーマーズ・マーケットでの生産履歴記帳の取り組みは平成22年度と比べ着実に浸透している。



資料:平成27年度JAファーマーズ・マーケット実態調査結果報告

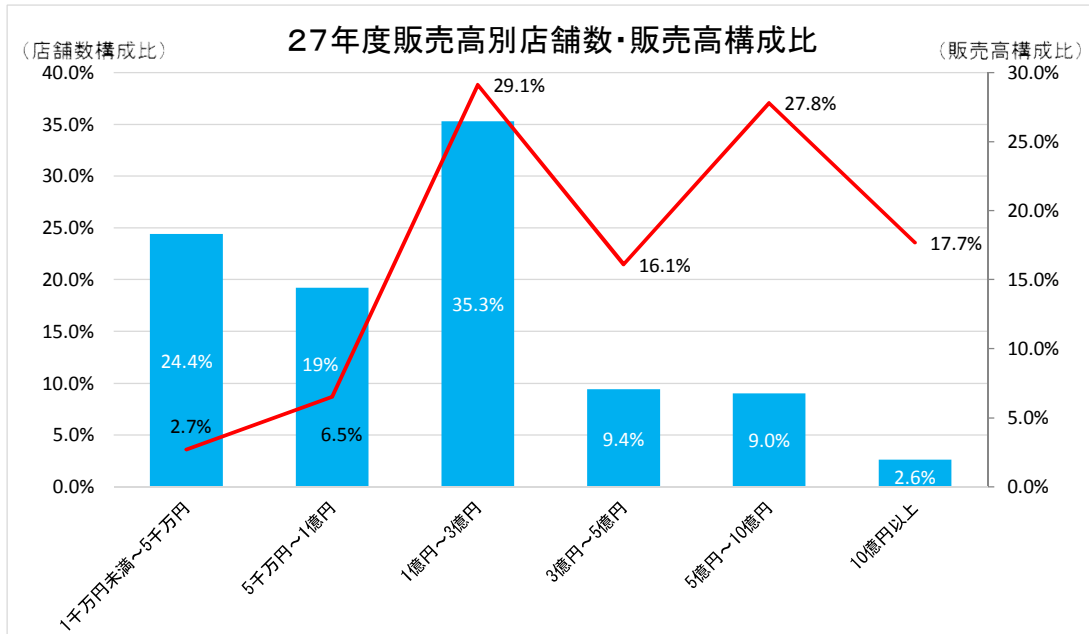


JAファーマーズ・マーケットの販売高が増加傾向にあり、全店舗平均で2億円/年を超えた。



資料:平成27年度JAファーマーズ・マーケット実態調査結果報告

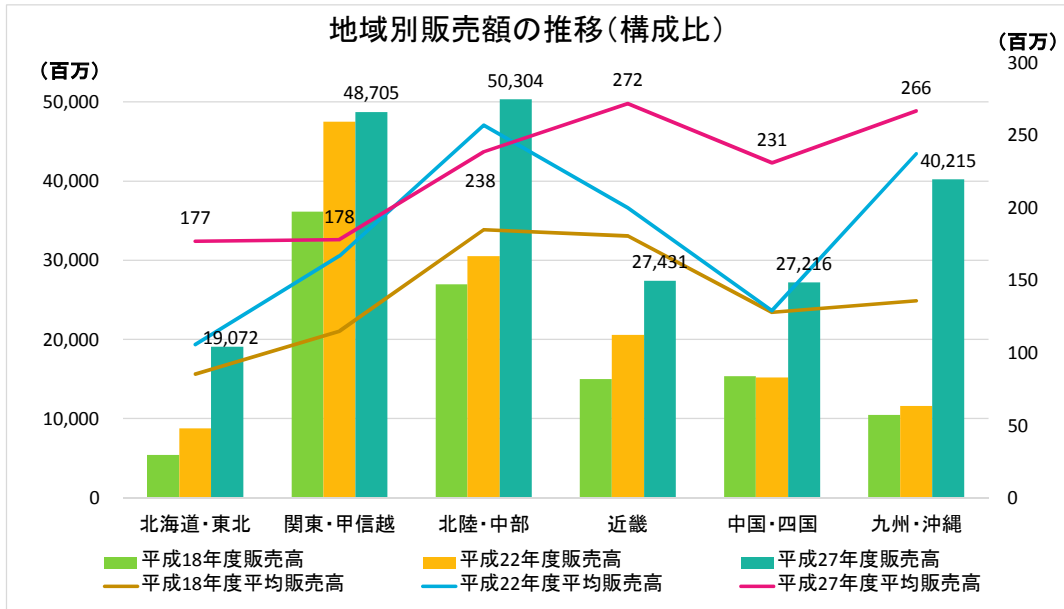
販売額5億円以上の店舗数は全体の11%だが、販売額全体に占める割合は46%である。



資料:平成27年度JAファーマーズ・マーケット実態調査結果報告

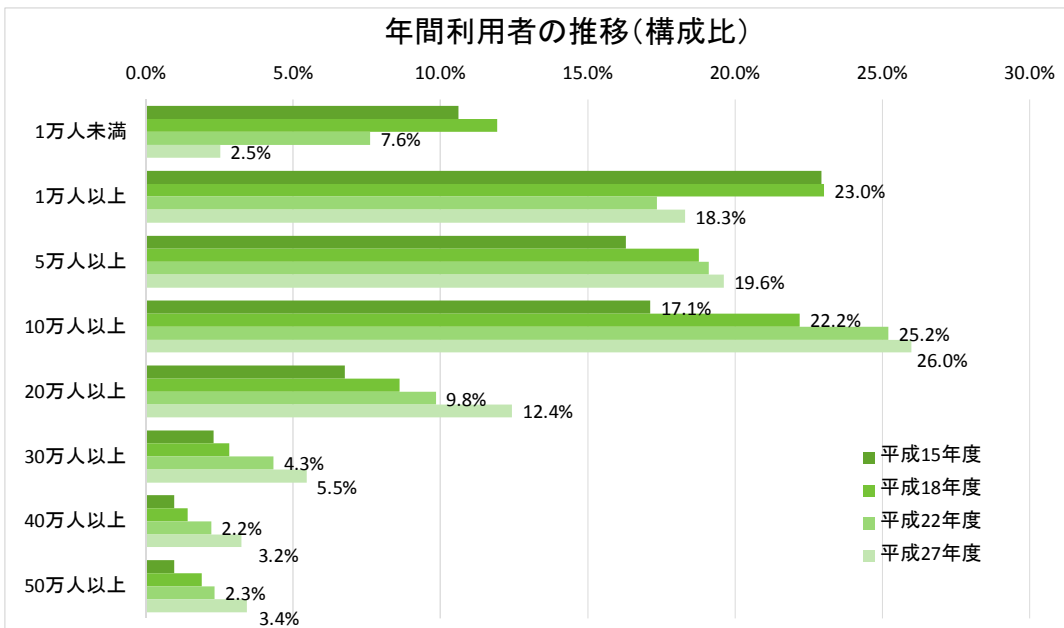


地域別販売額の合計額は関東・甲信越、北陸・中部が大きく、平均販売額は近畿、九州・沖縄が高い。



資料:平成27年度JAファーマーズ・マーケット実態調査結果報告

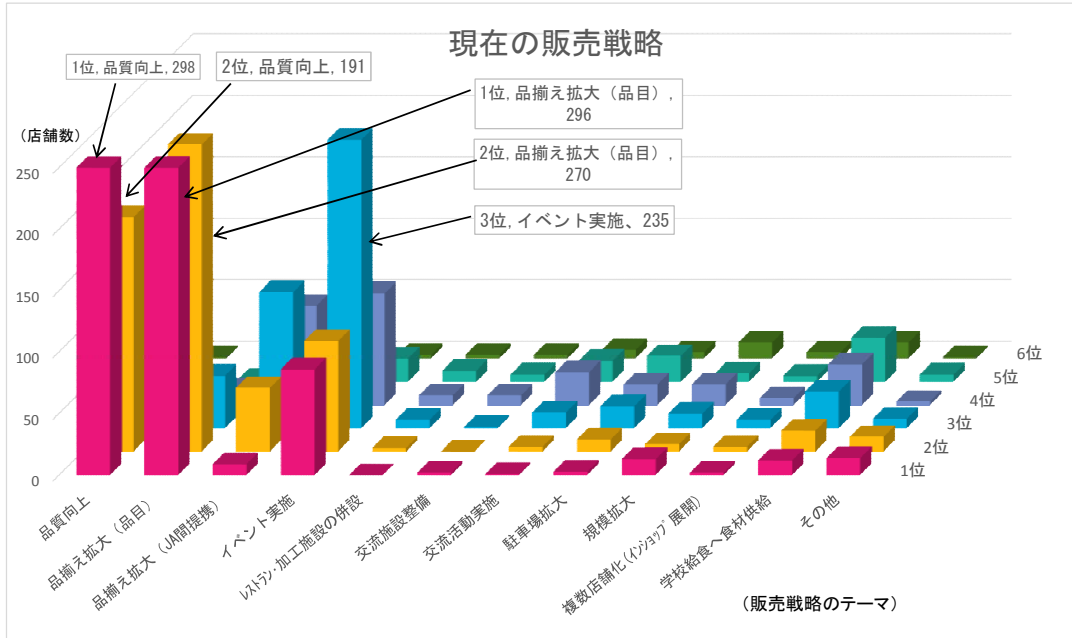
JAファーマーズ・マーケットの年間利用者数が10万人以上の店舗で増加率が大きく、26%を占める。



資料:平成27年度JAファーマーズ・マーケット実態調査結果報告

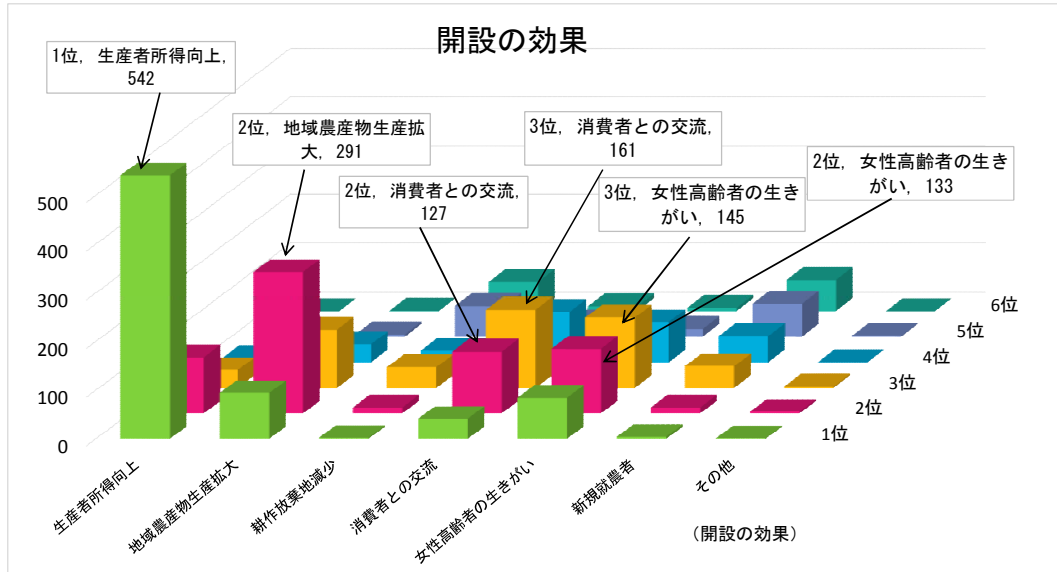


現在の販売戦略のテーマとして、多くの店舗で品質の向上や品目の品揃え拡大を挙げている。



資料：平成27年度JAファーマーズ・マーケット実態調査結果報告

ファーマーズ・マーケットの開設の効果は、生産者所得向上の他、地域農産物の生産拡大、消費者の交流、女性・高齢者の生きがい等が挙げられる。



資料：平成27年度JAファーマーズ・マーケット実態調査結果報告

